

世界の切手に見る消防関係の切手(16)

平 岩 道 夫 (切手評論家)



(写真①)



(写真②)



(写真③)



(写真④)



(写真⑧)



(写真⑤)



(写真⑥)



(写真⑦)

我が国では、暖房器具類の使用増加などにより、ますます“火災”発生のニュースが多くなっているきょうこの頃、世界各国から発行された“消防にちなむ切手”を、紹介してみよう。

まずガイアナ(中米)が防災週間をPRするために発行した4種の切手からどうぞ(写真①)1850年代の手押し消火ポンプを描いた図案。ホースから水が出ている点にご注目!

(写真②)蒸気エンジンを使った消防自動車。1860年代のものということだ。

(写真③)1930年代の消防ハンゴ車。

(写真④)近代的な消防自動車で、切手には1977年代と記されている。

(写真⑤)ブラジル発行の切手で手前に初期の消火ポンプが描かれている。

(写真⑥)サルバドル(中米)発行の切手で、現在の消防自動車と、(写真⑦)は、同じくサルバドル発行の切手で、消防士による消火活動の様子を描いている。

(写真⑧)チリ(南米)発行の“2種連刷”という、変わりだネ切手。向かって右は1902年カナダ製の消火ポンプを描いたもの。向かって左は1872年イギリス製の消火ポンプを描いたもの。以上いずれの切手も火災のこわさ、消防の必要性を訴えた図案となっている。